



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
 コード番号 5724 URL <http://www.asaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	6,637	5.4	339	131.3	344	140.1	253	10.3
29年9月期第3四半期	6,296	6.6	146	△20.3	143	△17.3	229	△0.9

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 263百万円 (12.2%) 29年9月期第3四半期 235百万円 (14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	99.23	98.95
29年9月期第3四半期	90.16	89.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	6,037	3,007	49.7	1,174.74
29年9月期	5,948	2,777	46.6	1,088.36

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 3,001百万円 29年9月期 2,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
30年9月期	-	0.00	-	-	-
30年9月期(予想)	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,876	5.9	393	88.5	387	85.7	279	2.0	109.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	2,572,300株	29年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	17,161株	29年9月期	25,025株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	2,552,134株	29年9月期3Q	2,547,369株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野の生産は全体として前期を上回る水準となりましたが、海外のスマートフォン生産の減速の影響により生産が前年を下回った分野も見られました。貴金属・銅の価格は前期を上回る水準が継続しましたが、主に米国金利の上昇により価格は徐々に低下しております。

このような環境の中、当社では、既存事業の強化と効率化に取り組むとともに、引き続き新たな技術開発に挑んでおります。既存事業では、既取引先の深耕や新規開拓と共に、貴金属材料の供給や光触媒の販路拡大を進めるほか、製造工程の自動化・ロボット化による効率改善に取り組んでおります。新たに推進しているレアメタル事業では、すでに販売を開始している光学ガラス向け原料のほか、今後成長が期待される電子部品向け原料の開発と取引先での評価試験を実施しております。顧客の認証が進み販売先が拡大したものの、対象製品の需要は当初予想を下回りました。今後につきましては、販売先の開拓、技術開発に注力し、早期に業績に貢献できるような事業を推進してまいります。

以上により、売上高は貴金属及び環境事業での増加により6,637百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。営業利益は、売上高の増加のほか、前期実施したレアメタルリサイクル実証事業の進展から研究開発費が減少した等により、前年同四半期を上回る339百万円（前年同四半期比131.3%増）となりました。経常利益は344百万円（前年同四半期比140.1%増）。親会社株主に帰属する四半期純利益は、253百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

(貴金属事業)

海外のスマートフォン生産の減速の影響により、金の取扱数量は前期をやや下回る水準となりましたが、他の貴金属製品の数量が増加したこと、貴金属相場が前年を上回る水準で推移したことから、売上高は5,964百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。セグメント利益は、研究開発費の減少のほか、取引内容の見直し、製造工程の自動化等による効率改善により、252百万円（前年同四半期比103.2%増）となりました。

(環境事業)

主力製品である銅ペレット及び薬品の販売数量が前期を上回り、銅の販売価格も前期を上回ったことから、売上高は606百万円（前年同四半期比8.6%増）、セグメント利益は、販売数量の増加、販売価格の上昇により増加し77百万円（前年同四半期は6百万円の損失）となりました。

(システム事業)

品質管理システムや計測データ処理システム等の受注が堅調に推移しましたが、OSのバージョンアップに伴う更新需要が一段落したこと、売上高は58百万円（前年同四半期比13.1%減）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比55.4%減）となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等の売上高は106百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、6,037百万円となりました。

主な要因は、棚卸資産が218百万円増加し、現金及び預金が101百万円、受取手形及び売掛金が29百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて142百万円減少し、3,029百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が134百万円、借入金が44百万円減少したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて230百万円増加し、3,007百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が215百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、平成29年11月10日の「平成29年9月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想のとおりであり、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,866	1,156,568
受取手形及び売掛金	401,138	372,110
商品及び製品	349,634	381,960
仕掛品	309,175	446,086
原材料及び貯蔵品	105,017	154,705
繰延税金資産	45,634	23,141
その他	161,876	193,752
流動資産合計	2,630,343	2,728,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,370,644	2,389,449
減価償却累計額	△1,047,171	△1,115,116
建物及び構築物（純額）	1,323,472	1,274,333
機械装置及び運搬具	2,439,499	2,488,587
減価償却累計額	△2,026,605	△2,107,272
機械装置及び運搬具（純額）	412,894	381,314
土地	1,221,156	1,240,067
リース資産	56,999	29,559
減価償却累計額	△49,240	△23,435
リース資産（純額）	7,758	6,123
建設仮勘定	17,907	60,997
その他	191,269	201,989
減価償却累計額	△172,034	△172,415
その他（純額）	19,234	29,573
有形固定資産合計	3,002,424	2,992,410
無形固定資産	24,047	24,184
投資その他の資産		
投資有価証券	44,108	54,653
退職給付に係る資産	99,453	95,610
その他	148,393	141,862
投資その他の資産合計	291,955	292,126
固定資産合計	3,318,427	3,308,721
資産合計	5,948,771	6,037,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,439	159,314
短期借入金	706,608	812,114
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	2,354	2,354
未払法人税等	134,916	781
繰延税金負債	6	—
賞与引当金	89,904	49,965
その他	358,929	442,790
流動負債合計	1,485,160	1,467,320
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	1,090,901	940,834
リース債務	5,955	4,189
繰延税金負債	117,888	147,853
長期未払金	216,005	213,201
資産除去債務	48,223	48,885
その他	7,474	7,293
固定負債合計	1,686,448	1,562,258
負債合計	3,171,608	3,029,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	352,522	354,211
利益剰余金	1,920,915	2,135,965
自己株式	△13,865	△9,546
株主資本合計	2,763,867	2,984,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,876	24,139
繰延ヘッジ損益	△5,239	△5,112
為替換算調整勘定	△85	△192
退職給付に係る調整累計額	△3,055	△2,140
その他の包括利益累計額合計	8,495	16,694
新株予約権	2,766	1,328
非支配株主持分	2,033	4,519
純資産合計	2,777,162	3,007,468
負債純資産合計	5,948,771	6,037,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,296,466	6,637,818
売上原価	5,079,998	5,274,381
売上総利益	1,216,468	1,363,437
販売費及び一般管理費	1,069,495	1,023,485
営業利益	146,972	339,952
営業外収益		
受取利息	89	116
受取配当金	227	4,112
受取賃貸料	6,216	6,169
為替差益	3,991	8,285
その他	15,186	8,056
営業外収益合計	25,712	26,740
営業外費用		
支払利息	16,909	14,884
地金借入料	3,755	4,678
その他	8,378	2,254
営業外費用合計	29,043	21,818
経常利益	143,641	344,874
特別利益		
補助金収入	159,193	—
新株予約権戻入益	54	—
ゴルフ会員権売却益	166	—
特別利益合計	159,413	—
特別損失		
固定資産除却損	83	99
特別損失合計	83	99
税金等調整前四半期純利益	302,971	344,775
法人税、住民税及び事業税	109,017	41,068
法人税等調整額	△33,375	47,891
法人税等合計	75,642	88,959
四半期純利益	227,328	255,815
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,351	2,556
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,680	253,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	227,328	255,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,001	7,263
繰延ヘッジ損益	△5,068	126
為替換算調整勘定	78	△176
退職給付に係る調整額	876	915
その他の包括利益合計	7,889	8,128
四半期包括利益	235,217	263,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,537	261,458
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,319	2,485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,662,956	558,244	67,371	6,288,573	7,893	6,296,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	100,095	100,095
計	5,662,956	558,244	67,371	6,288,573	107,988	6,396,562
セグメント利益又は 損失(△)	124,198	△6,656	21,485	139,028	4,612	143,641

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま
す。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,964,771	606,491	58,576	6,629,839	7,979	6,637,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	98,801	98,805
計	5,964,776	606,491	58,576	6,629,844	106,780	6,736,624
セグメント利益	252,351	77,884	9,590	339,826	5,048	344,874

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま
す。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「システム受託開発事業」としていた報告セグメントの名称を「シス
テム事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありませ
ん。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の名称により作成しておりま
す。